

(数 学 A) 学 習 指 導 案

学 級	3年1組	教 室	223教室	指導者	(省略)
単 元	第2章 確率		教科書	新版 数学A 新訂版(実教出版)	
指 導 目 標	1 日常生活の中で用いられる確率について考え、確率の面白さや有用性を理解させる。 2 用語の意味を理解させ、確率の求め方について習熟させる。		指 導 計 画	1 確率とその基本性質・・・・・・・・・・6時間 (本時はその1) 2 色々な確率の計算・・・・・・・・・・6時間	
本時の主題	事象と確率				
前時の課題	日常生活の中で用いられる確率に、どのようなものがあるか考える。				
目 標	1 身近なところで確立が使われていることに気付かせ、確率の有用性を理解させる。 2 試行、事象、根元事象などの用語の意味を理解させるとともに、どの根元事象も同様に確からしいときの確率の定義を理解させる。				
指 導 過 程	指 導 内 容		嚮	指 導 上 の 留 意 点	
	導 入	本時の目標を確認する。	5	・中学校の学習内容を確認させる。 ・資料・教具・評価基準等 ・資料プリント ・パソコン	
	展 開	1 確率の有用性について理解させる。	15	・どのようなことに確率が用いられているか、身近な例から考えさせる。 ・確率の考え方をを用いて面積の求め方を考えさせる。	
		2 どの根元事象も同様に確からしいときの、確率の定義を説明する。	15	・中学校との違いに注意させながら、試行、事象、根元事象などの用語の意味を理解させる。 ・ワークシート	
展 開	3 練習2を解かせる。 さいころを1回投げるとき、次の確率を求めよ。 (1)奇数の目が出る確率 (2)5以上の目が出る確率	10	・事象を正しく理解させる。 ・学習事項が理解できているかを確認する。		
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。		5	・課題を提示する。	
次時の課題	問題集『アクセス数学I+A』p.76の問題を解く。				
備 考	商業科 生徒数 40名 (男子23名、女子17名)				